

# 茨城県感染症流行情報

INFECTIOUS DISEASE WEEKLY REPORT IBARAKI

2017年第39週  
(09月25日～10月01日)

## 【今週の動向】

・手足口病の県内の報告数は2週連続で減少し、定点当たり5.04(先週6.43)となりました。全国においても減少傾向にありますが、県内の警報は現在も発令中のため、今後も引き続き注意が必要です。

・RSウイルス感染症の県内の報告数は3週連続で減少し、定点当たり1.47(先週1.68)となりましたが、これからの季節に増加しやすい感染症であるため、引き続き注意が必要です。

平成29年(2017)年10月05日発行

・**掲載日について** 週報のホームページ掲載は、原則毎週(木曜日)14:00以降の予定です。ただし、その週に祭日等がある場合は、掲載日が木曜日以降となります。また、年末年始時やゴールデンウィーク等の場合は前もって次号掲載予定日をお知らせします。

★ 定点把握疾患のうち、性感染症(性器クラミジア感染症、性器ヘルペス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症)および基幹定点(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症)については、別途月報に掲載しています。

・ この情報は、速報性を重視しておりますので、今後、数値に若干の変更が生じる場合があります。

・ 全国の感染症発生動向情報につきましては、国立感染症研究所 感染症疫学センターのホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)をご覧ください。

## 茨城県感染症情報センター

Ibaraki Infectious Disease Surveillance Center



茨城県衛生研究所【編集・発行】

電話: 029-241-6652

## 全数把握対象疾患 報告数 2017年第39週

分類	対象疾患	茨城県(診断日)						全国(診断日)		
		35週	36週	37週	38週	39週	年累計	39週	年累計	
1類	エボラ出血熱									
	クリミア・コンゴ出血熱									
	痘そう									
	南米出血熱									
	ベスト									
	マールブルグ病									
	ラッサ熱									
2類	急性灰白髄炎									
	結核	8	10	9	8	6	372	368	16931	
	ジフテリア									
	重症急性呼吸器症候群									
	中東呼吸器感染症									
	鳥インフルエンザ(H5N1)									
	鳥インフルエンザ(H7N9)									
3類	コレラ								7	
	細菌性赤痢					1	1	2	117	
	腸管出血性大腸菌感染症	8	4	6	1	2	86	115	3218	
	腸チフス						2	1	28	
	パラチフス								12	
4類	E型肝炎						9	5	244	
	ウエストナイル熱									
	A型肝炎		1				4	2	220	
	エキノコックス症								22	
	黄熱									
	オウム病						1		10	
	オムスク出血熱									
	回帰熱								5	
	キャサヌル森林病									
	Q熱									
	狂犬病									
	コクシジオイデス症								1	
	サル痘									
	ジカウイルス感染症								3	
	重症熱性血小板減少症候群								1	74
	腎症候性出血熱									
	西部ウマ脳炎									
	ダニ媒介脳炎									2
	炭疽									
	チクングニア熱									3
	つつが虫病							2	1	113
	デング熱							6	7	195
	東部ウマ脳炎									
	鳥インフルエンザ(H5N1除く)									
	ニパウイルス感染症									
	日本紅斑熱								16	255
	日本脳炎									
	ハンタウイルス肺症候群									
	Bウイルス病									
	鼻疽									
	ブルセラ症									1
ベネズエラウマ脳炎										
ヘンドラウイルス感染症										
発しんチフス										
ボツリヌス症									3	
マラリア							4		44	

### 全数把握対象疾患 報告数 2017年第39週

分類	対象疾患	茨城県(診断日)					全国(診断日)		
		35週	36週	37週	38週	39週	年累計	39週	年累計
4類	野兔病								
	ライム病			1			1		18
	リッサウイルス感染症								
	リフトバレー熱								1
	類鼻疽								
	レジオネラ症	1		3		1	40	46	1281
	レプトスピラ症						1	1	29
	ロッキー山紅斑熱								
5類 (全数)	アメーバ赤痢	1				1	10	20	808
	ウイルス性肝炎(E型・A型肝炎を除く)						6	1	215
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症						6	22	1209
	急性脳炎		1	1	1		18	10	528
	クリプトスポリジウム症								9
	クロイツフェルト・ヤコブ病						2	3	154
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症						7	4	419
	後天性免疫不全症候群						9	17	1030
	ジアルジア症						1		46
	侵襲性インフルエンザ菌感染症						2	3	275
	侵襲性髄膜炎菌感染症						1		20
	侵襲性肺炎球菌感染症		1		1		37	23	2420
	水痘(入院に限る)						3	2	221
	先天性風しん症候群								
	梅毒	2	3	3	1		38	99	4255
	播種性クリプトコックス症								3
	破傷風	1						4	101
	バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症								
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症								62
	風しん						1	1	2
麻しん							1	4	
薬剤耐性アシネトバクター感染症							1	17	

#### <38週の保健所別報告数>

	疾患名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	レジオネラ症	アメーバ赤痢	風しん
保健所名	水戸	1					
	ひたちなか			1			
	常陸大宮						
	日立						
	鉾田						
	潮来	1					
	竜ヶ崎	1		1			
	土浦	1	1				
	つくば						
	筑西	1					
	常総					1	
	古河	1				1	1
合計		6	1	2	1	1	1

## 週報告 定点把握対象疾患 報告数 2017年第39週

定点種別	対象疾患	茨城県						全国(速報)	
		35週	36週	37週	38週	39週		39週	
		報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	インフルエンザ	31	27	15	9	6	0.05	1021	0.21
小児科	RSウイルス感染症	165	200	165	126	110	1.47	7207	2.28
	咽頭結膜熱	23	30	18	22	20	0.27	1307	0.41
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	64	97	98	83	107	1.43	4846	1.53
	感染性胃腸炎	231	216	233	185	268	3.57	9744	3.08
	水痘	15	14	13	15	19	0.25	743	0.24
	手足口病	820	601	639	482	378	5.04	7447	2.36
	伝染性紅斑	3	0	5	3	5	0.07	175	0.06
	突発性発しん	28	23	33	15	22	0.29	1375	0.44
	百日咳	0	0	1	0	0	0.00	33	0.01
	ヘルパンギーナ	114	113	111	57	45	0.60	1828	0.58
	流行性耳下腺炎	10	9	8	14	10	0.13	1233	0.39
	眼科	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0.00	3
流行性角結膜炎		21	24	29	25	19	1.12	732	1.05
基幹	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.00	11	0.02
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.00	24	0.05
	マイコプラズマ肺炎	3	5	2	3	4	0.31	170	0.36
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0.00	2	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0.00	3	0.01

・この情報は、速報性を重視しておりますので、今後、数値に若干の変更が生じる場合があります。

### 県内の定点医療機関数

定点種別	インフルエンザ	120
	小児科	75
	眼科	17
	性感染症(月報告)	22
	基幹	13

### <定点把握対象疾患のコメント>

・手足口病は、全国・県内において先週よりも減少し、県内の定点当たり報告数は5.04となりました。全国においては第31週以降減少傾向にありますが、県内では現在も非常に高く、特に土浦保健所管内が9.75、潮来保健所管内が7.40、日立保健所管内が6.71と高いです。今後も引き続き注意が必要です。(P4, P5, P7参照)

・RSウイルス感染症は、県内においては3週連続で減少し、定点当たり報告数は1.47と、昨年同期とほぼ同じ値になりました。しかし、保健所別にみると、潮来保健所管内が3.80、古河保健所が3.40、ひたちなか保健所管内が3.20と現在も高い状態が続いています。秋から冬にかけて増加しやすい感染症であり、今後も引き続き注意が必要です。(P4, P5, P6参照)

### 定点把握対象疾患報告数【保健所別】2017年第39週

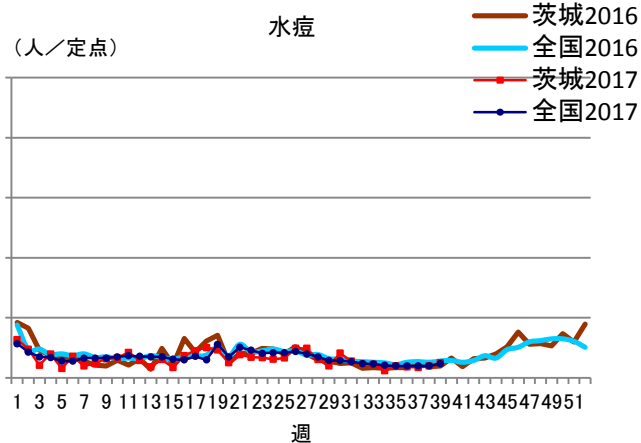
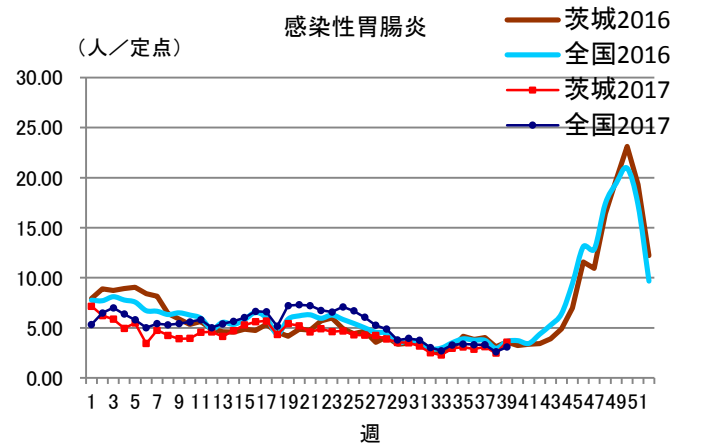
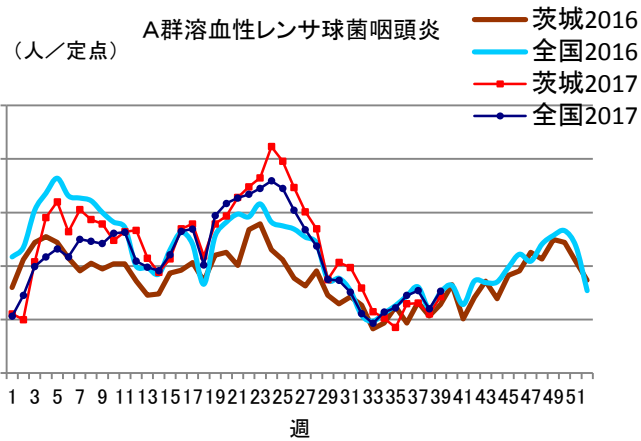
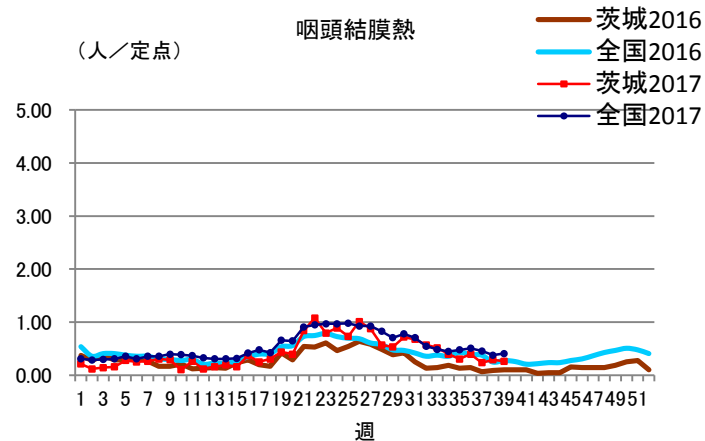
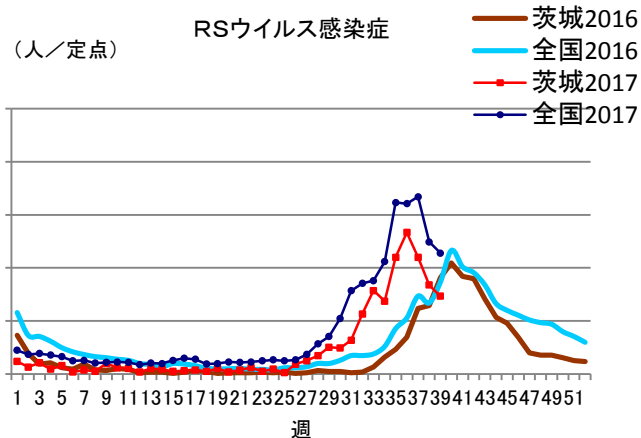
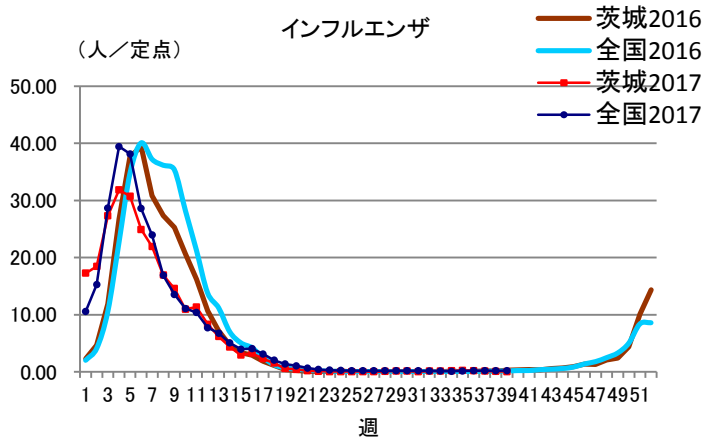
定点種別	疾 病/保健所	水戸	ひたち なか	常陸 大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	県
インフル エンザ	インフルエンザ	1	0	1	0	0	0	2	1	1	0	0	0	6
小児科	RSウイルス	9	16	2	4	4	19	8	5	16	7	3	17	110
	咽頭結膜熱	0	4	0	2	0	1	5	0	0	3	3	2	20
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	2	5	21	4	3	8	8	6	21	10	6	13	107
	感染性胃腸炎	10	59	15	2	3	6	54	25	44	19	23	8	268
	水痘	5	2	2	3	1	0	4	0	1	0	1	0	19
	手足口病	30	31	12	47	8	37	36	78	29	26	31	13	378
	伝染性紅斑	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	5
	突発性発しん	3	0	5	1	0	1	1	1	3	3	1	3	22
	百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘルパンギーナ	8	0	1	2	0	9	2	5	7	10	0	1	45
	流行性耳下腺炎	0	0	0	1	0	4	1	1	0	0	1	2	10
眼科	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	/	0	0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	2	3	2	0	/	1	4	3	3	0	0	1	19
基幹	細菌性髄膜炎 (真菌性を含む)	0	0	/	0	0	0	0	0	0	0	/	0	0
	無菌性髄膜炎	0	0	/	0	0	0	0	0	0	0	/	0	0
	マイコプラズマ肺炎	0	1	/	0	0	0	1	0	1	1	/	0	4
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	0	0	/	0	0	0	0	0	0	0	/	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	/	0	0	0	0	0	0	0	/	0	0

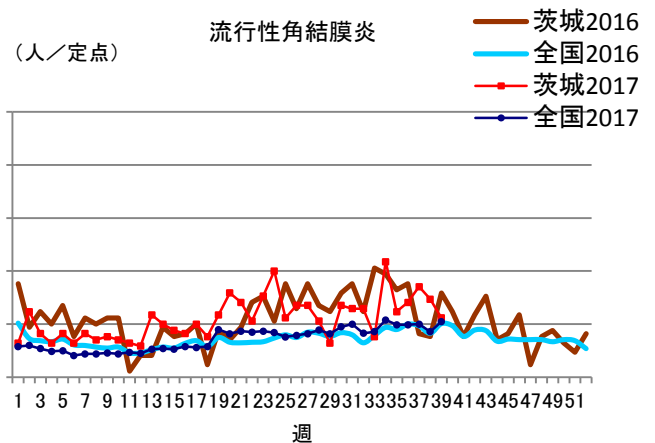
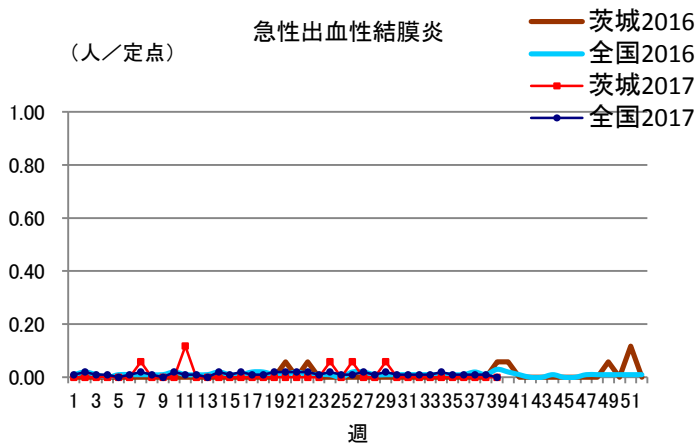
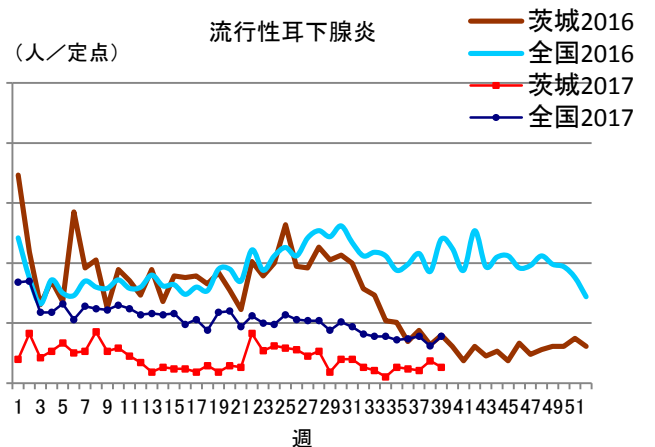
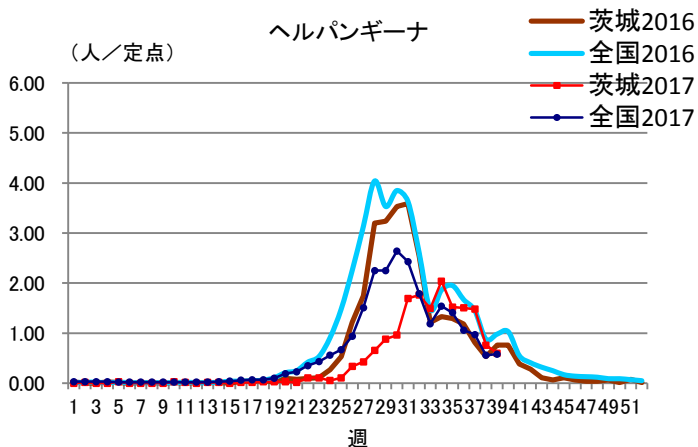
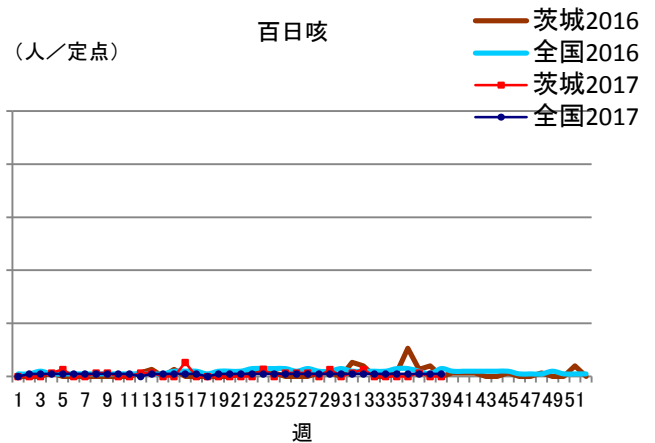
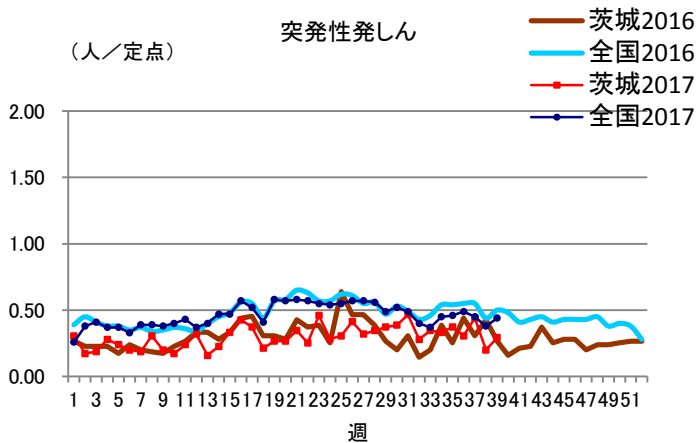
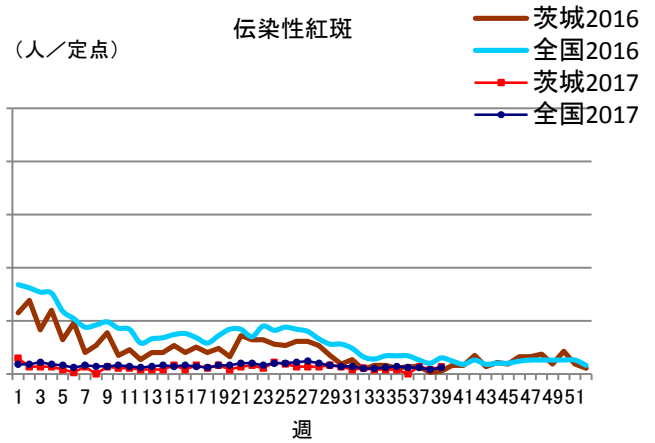
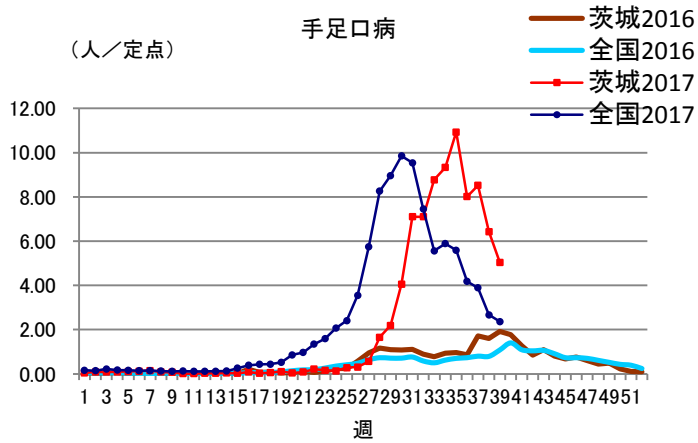
### 定点把握対象疾患定点当たり報告数【保健所別】2017年第39週

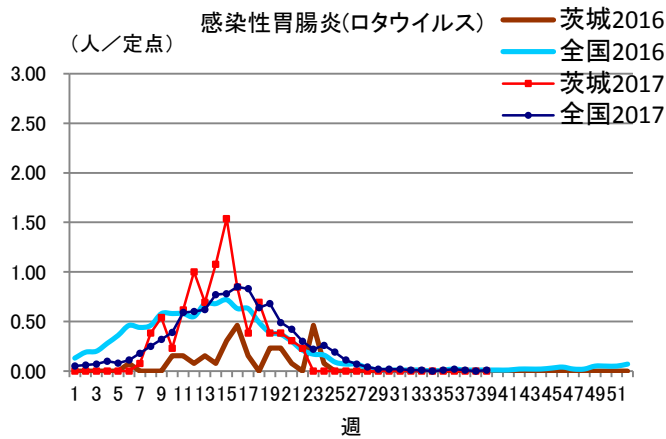
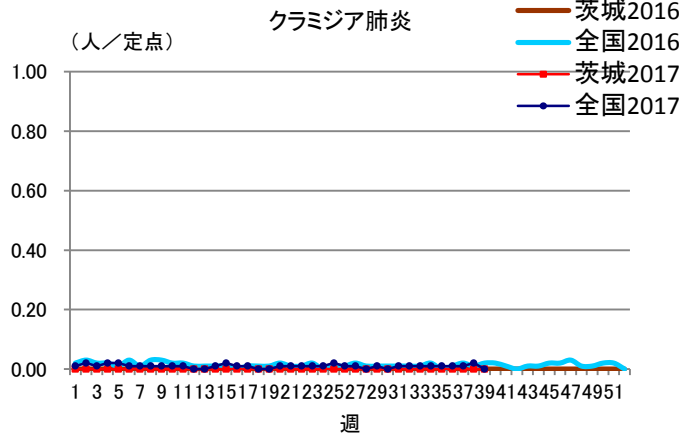
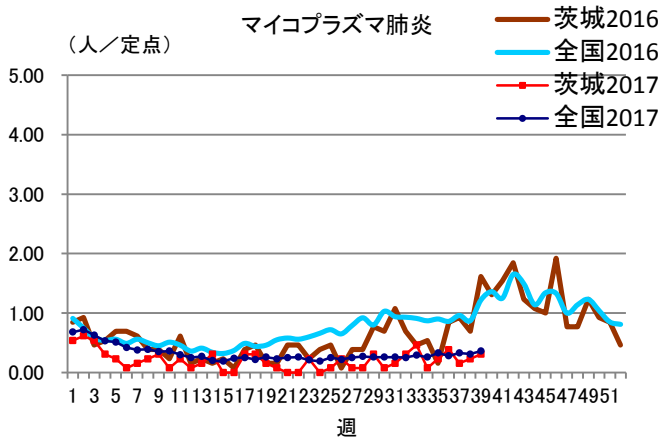
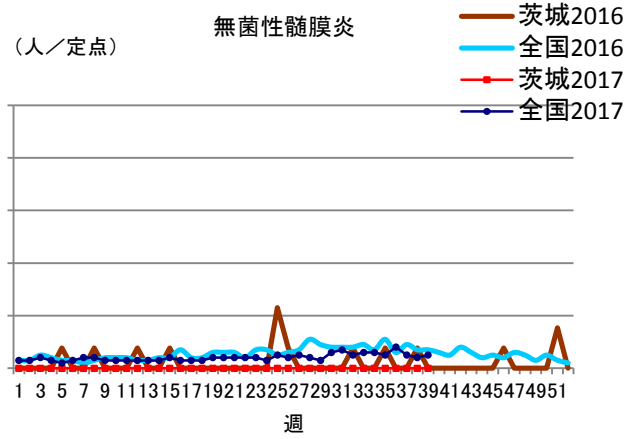
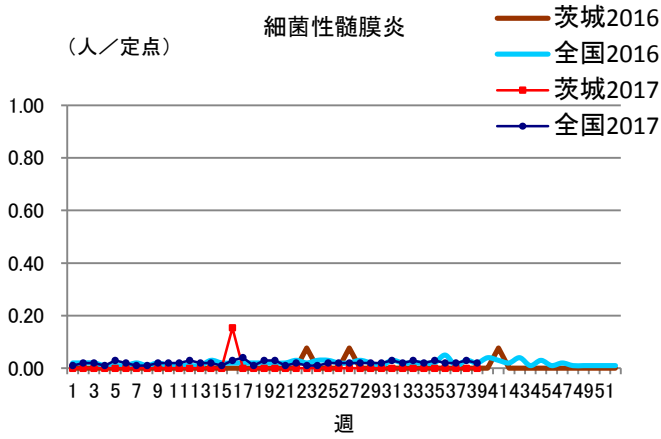
定点種別	疾 病/保健所	水戸	ひたち なか	常陸 大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	県
インフル エンザ	インフルエンザ	0.06	0.00	0.13	0.00	0.00	0.00	0.14	0.08	0.10	0.00	0.00	0.00	0.05
小児科	RSウイルス	0.82	3.20	0.40	0.57	1.33	3.80	0.89	0.63	2.67	1.17	0.60	3.40	1.47
	咽頭結膜熱	0.00	0.80	0.00	0.29	0.00	0.20	0.56	0.00	0.00	0.50	0.60	0.40	0.27
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	0.18	1.00	4.20	0.57	1.00	1.60	0.89	0.75	3.50	1.67	1.20	2.60	1.43
	感染性胃腸炎	0.91	11.80	3.00	0.29	1.00	1.20	6.00	3.13	7.33	3.17	4.60	1.60	3.57
	水痘	0.45	0.40	0.40	0.43	0.33	0.00	0.44	0.00	0.17	0.00	0.20	0.00	0.25
	手足口病	2.73	6.20	2.40	6.71	2.67	7.40	4.00	9.75	4.83	4.33	6.20	2.60	5.04
	伝染性紅斑	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.40	0.07
	突発性発しん	0.27	0.00	1.00	0.14	0.00	0.20	0.11	0.13	0.50	0.50	0.20	0.60	0.29
	百日咳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	ヘルパンギーナ	0.73	0.00	0.20	0.29	0.00	1.80	0.22	0.63	1.17	1.67	0.00	0.20	0.60
	流行性耳下腺炎	0.00	0.00	0.00	0.14	0.00	0.80	0.11	0.13	0.00	0.00	0.20	0.40	0.13
眼科	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	/	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流行性角結膜炎	0.67	3.00	2.00	0.00	/	1.00	1.33	1.50	3.00	0.00	0.00	1.00	1.12
基幹	細菌性髄膜炎 (真菌性を含む)	0.00	0.00	/	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	/	0.00	0.00
	無菌性髄膜炎	0.00	0.00	/	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	/	0.00	0.00
	マイコプラズマ肺炎	0.00	1.00	/	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	1.00	1.00	/	0.00	0.31
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	0.00	0.00	/	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	/	0.00	0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0.00	0.00	/	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	/	0.00	0.00

※斜線の箇所は定点医療機関が設定されていません。

# 定点把握対象疾患報告数【週別発生状況】2017年第39週







保健所管内別定点医療機関数

保健所名	定点種別				
	インフルエンザ	小児科	眼科	性感染症	基幹
水戸	17	11	3	4	2
ひたちなか	8	5	1	1	1
常陸大宮	8	5	1	1	0
日立	11	7	2	2	2
鉾田	5	3	0	1	1
潮来	8	5	1	1	1
竜ヶ崎	14	9	3	3	2
土浦	13	8	2	3	1
つくば	10	6	1	2	1
筑西	10	6	1	2	1
常総	8	5	1	1	0
古河	8	5	1	1	1
計	120	75	17	22	13



## 茨城県感染症発生動向疾患別年齢別報告数

### ●インフルエンザ定点

保健所	水戸	ひたちなか	常陸大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河
インフルエンザ	1	0	1	0	0	0	2	1	1	0	0	0

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳
インフルエンザ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～	合計
インフルエンザ	0	0	2	2	0	0	0	0	6

### ●小児科定点

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳
RSウイルス感染症	27	23	31	19	6	2	1	1	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0	1	2	5	1	2	5	1	2	1	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	0	8	2	8	7	13	12	10	7	9	19
感染性胃腸炎	3	16	40	32	24	23	19	8	10	8	7	32
水痘	0	1	1	1	3	1	1	4	2	1	0	3
手足口病	5	26	90	54	44	52	37	22	17	10	5	12
伝染性紅斑	0	0	1	1	0	2	0	1	0	0	0	0
突発性発しん	3	8	8	2	1	0	0	0	0	0	0	0
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	1	5	16	8	7	3	2	1	1	0	0	0
流行性耳下腺炎	0	0	0	1	0	1	1	0	4	0	1	2

	～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	0	0	110
咽頭結膜熱	0	0	20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	9	107
感染性胃腸炎	11	35	268
水痘	1	0	19
手足口病	0	4	378
伝染性紅斑	0	0	5
突発性発しん	0	0	22
百日咳	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	1	45
流行性耳下腺炎	0	0	10

### ●眼科定点

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0

	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～	合計
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	1	4	0	2	2	3	19

### ●基幹定点

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～	合計
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	1	0	0	0	0	0	0	0	4
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0